



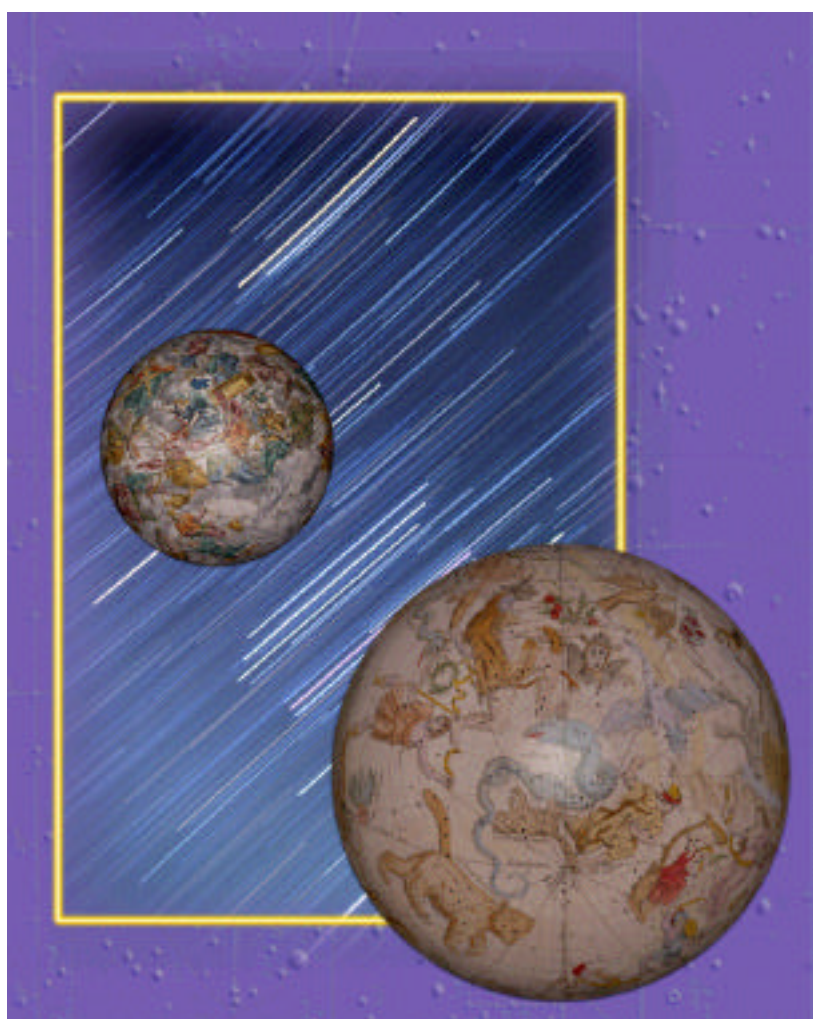
あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'00 3月号

春期特別展

星の地図・星の住所



めぐりゆく星空は、いったいつからそうしてきたのでしょうか？何百年も前の星空を眺めてみたいと感じたことはありませんか？

古い星図（星の地図）や星表（星の住所）は、人類が何千年も星空を見続けてきたことを、そしてそれぞれの時代に同じ星空があったことを証明してくれます。さらに、永遠な星空に現れる、何百年もたたなければわからないような小さな変化と、それに気づいた人々の歴史も...

いま、わたしたちは、星の位置をどこまで知ることができたのでしょうか？こちらは最新の星表から読みとってみましょう。

古今東西の星図や星表を展示し、古代より現代まで、星の位置を観測してきた人々の歴史をたどります。

関連行事

星を見る会 3月17日（金）
展示説明会 3月23日（木）
星座早見を作ろう 3月30日（木）

参加方法等は4ページをごらんください。

お問い合わせは下記まで。

平塚市浅間町12-41 電話 0463-33-5111

会期：西暦2000年3月18日（土）～4月9日（日）

会場：平塚市博物館特別展示室

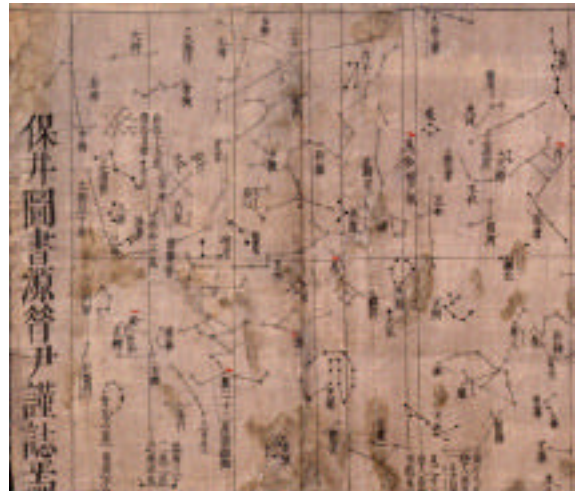
展示される古星図から



パルディ星図（千葉市立郷土博物館蔵）

Ignace-Gaston Pardies

イグナティウス・ガストン・パルディ（1656～1742）イエズス会士でフランスの数学者・天文学者。Globi Coelestis（1674）は赤道座標系の星図。2ページ大星図6面は、北天、南天、春分、秋分、夏至、冬至の二至二分中心の4面で構成されている。卓越した印刷技術により、個々の星が鮮明に示されている。バイエル星図をもとにしているが、星座のデザインなどはオリジナルである。



江戸時代の星図「天文成象」（千葉市立郷土博物館蔵）

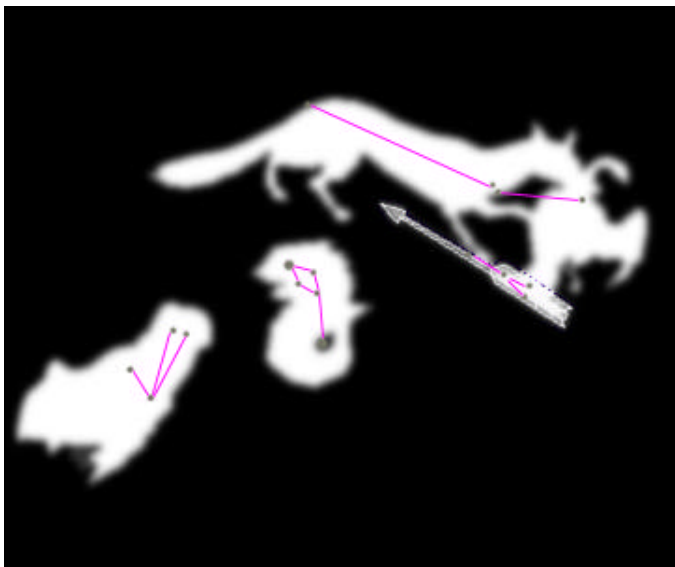
日本人の手による初めての暦となった貞享暦の作者、渋川春海による星図。日本の古星図は中国式の星座を用いる。中国流の星図には一般に星の等級の描き分けなどがなく、現在の星座のどれにあたるのか判別が難しい。写真は中央やや上にしし座がある。

春海は観測器具を製作して観測を行ない、新たな星座を加えている。観測して星の位置を確かめ、その上で作ったという点で、我が国の近世天文学発展の口火を切った星図と言える。

今月のプラネタリウム投影

全天88星座

3月4日～4月23日



このシルエットは、何座でしょう？（4星座）
（答えはプラネタリウムを見てたしかめてください）

プラネタリウムでは、年間にいくつくらいの星座を紹介しているのでしょうか？実は、せいぜい30星座くらいなのです。ところが星座は全部で88もあります。出番を待ちながら、いつも紹介されない星座たちはいったいどこにあるのでしょうか。どんな星座なのでしょう。

このアンラッキーな星座たちが目立てないのは、

1. 明るい星がない
2. 小さい
3. 知名度が低い
4. 平塚では見えない

などの理由があるでしょうが、今回はそうしたすきま星座、見えない星座などを、時間のゆるすかぎり、おもいきり紹介します！

投影日・時刻：毎週土・日曜日11：00 14：00 所要時間約45分（途中入場は不可）

観覧料 1人100円（春休み中は水・木曜日にも上の時間に投影します） 定員86名

にぎわった博物館まつり！



博物館まつりのタイトルパネル



多くの来場者を迎えた展示会場



民俗探訪会の活動の発表

2月8日から13日まで、第1会の「博物館まつり」が開かれました。特別展示室には参加した13団体のそれぞれ趣向をこらした展示が並び、寒い季節としては大勢の入館者でにぎわいました。特に12日に開かれた発表会には、100名以上の参加者があり、スライドやOHP、さらにはビデオを駆使した力の入った発表が行われました。

会場では、「来年また開かれるなら、こんな展示がしたいね」とか「あの会の展示を参考にしたいね」などの会話も聞かれ、この催しがそれぞれの会の活動の刺激にもなったようです。実行委員として準備に関わって頂いた方々、また展示作成に協力を頂いた方々、どうもありがとうございました。



資料を多く使った地質調査会の展示



工夫をこらした古代遺跡を探す会の展示

平成12年度 行事案内

詳細はその都度、本紙や広報ひらつかでお知らせします。なお、内容日時等は一部変更する場合があります。

＝展示とプラネタリウム＝

☆特別展

- <夏>村井弦斎展 : 7月7日～8月31日
 <秋>暮らしと石材 : 10月7日～11月19日
 <冬>博物館まつり : (日程未定)
 <春>山本登写真展 : 3月10日～4月15日

☆寄贈品コーナー

- 人文部門新資料展 : 4月1日～4月30日
 自然部門新資料展 : 5月3日～6月4日
 七夕50周年展 : 6月16日～7月11日
 平塚の空襲と戦災展 : 7月13日～9月9日
 博物館実習生の展示 : 9月14日～10月29日
 丹沢の岩石展 : 11月1日～11月29日
 結びのわざ : 12月1日～12月27日
 考古部門 : 1月5日～1月30日
 生物部門 : 2月1日～2月27日
 天文部門 : 3月1日～3月30日

☆プラネタリウム

- 全天88星座 : 4月1日～4月23日
 さよならお月さま : 4月29日～7月16日
 天の川をめぐる : 7月22日～9月3日
 フリートークがらみ : 9月9日～10月1日
 よいの明星 : 10月7日～12月3日
 2001年の天体現象 : 12月9日～2月4日
 南半球の星座 : 2月10日～4月8日

＝申込制の行事＝

○体験学習

- 家紋風を作ろう : 4月30日
 縄文土器を作ろう : 8月9・10・11・23日
 地形模型を作ろう : 8月1・4日
 お飾りを作ろう : 12月17日
 わらそうりを作ろう : 11月12日

○自然観察会

四季折々の身近な自然を訪ねる会です。

- 照ヶ崎のアオバト : 5月28日
 相模湾の海鳥 : 7月28日
 秋の花と鳥 : 10月1日
 酒匂川の水鳥 : 1月14日

○こども観察会

小中学生とその保護者対象の自然観察会。

- 春の川を訪ねよう(相模川) : 4月22日
 アオバトを見よう(大磯照ヶ崎) : 6月25日
 コウモリと鳴く虫(相模川) : 8月26日
 落ち葉の観察(文化センター公園) : 11月26日
 早春の丘陵(土屋) : 3月25日

○自然観察ゼミナール

「セミの観察入門」を講義と観察で行います。

期日 : 8月3日・10日・11日

○みんなで調べよう

「カタツムリを調べよう」をテーマに。

期日 : 5月20日・6月11日・7月9日

○自然観察入門講座

「街の石材」を調べます。

期日 : 11月(未定)

○考古学入門講座

「集落」をテーマに4回連続で開催します。

- 縄文時代 : 10月7日
 弥生時代 : 10月21日
 古墳時代 : 11月4日
 奈良・平安時代 : 11月18日

＝自由参加行事＝

◎星を見る会

期日 : 5月12日・7月28日・8月4日・8月11日・
 8月18日・8月25日・10月13日・11月10日・
 12月22日・1月26日・2月23日・3月30日

時間 : 19時～20時30分

場所 : 屋上(科学教室に集合)

◎ろばたばなし

平塚の伝説や日本の昔話を民家内で語る会。

期日 : 毎月第3日曜日

時間 : 13時30分～14時、15時～15時30分
 の2回

◎自由研究相談会

自由研究の相談に博物館職員が応じます。

期日 : 7月26日・8月23日

時間 : 9時～12時

◆休館日 : 毎週月曜日、月末日(特展開催中は開館)、月曜祝日時の月・火曜日、6月6日～15日(全館薫蒸のため)、年末年始(12月28日～1月4日)

平塚市博物館
平成12年度 年間会員募集

年間会員制の行事は、1年を通して参加できる方を募集します。

平塚の空襲と戦災を記録する会

平塚空襲に関する資料の収集や聞き取り調査、戦災地図作成などを行います。

- ・日時：毎月第4土曜日の13時30分～17時
- ・場所：博物館特別研究室

天体観察会

流星群や月食など天文現象の観察や天文台の見学を通して、天体観察の知識と技術を学ぶ。

- ・日時：月1回、主に土曜日の夜間
 - ・場所：博物館屋上、函南月光天文台など
 - ・募集：中学生以上30名程度（18才未満の方はハガキに保護者名を書き添えてください）
- 4月22日：ガイダンス、5月6・7日：星の写真、6月10日：水星、7月16日：皆既月食、7月29日・8月5日・12日：スターウォッチング調査、9月9日：太陽・天球儀、10月7日：惑星、11月18～19日：しし座流星群、12月22日：こぐま座流星群、1月27日：スターウォッチング、2月3日：カノーブス、3月17日：まとめ

古代遺跡を探る会

遺跡の表面採集を通して考古学に関する知識を学ぶとともに、分科会では土器や石器を作って煮炊きする実験なども行っています。

- ・日時：毎月第4日曜日午前10時～午後3時
 - ・場所：野外（雨天時は博物館）・募集：20名
- 4月23日、5月28日、6月25日、7月23日、8月27日、9月24日、10月22日、11月26日、12月24日、1月28日、2月25日、3月25日

相模川の生い立ちを探る会

丹沢山地など相模川流域各地を歩きながら、地形や地質を観察し、生活とのつながりを考えます。会誌「グリーンタフ」を発行します。

- ・日時：月1回、主に日曜日の9時～16時
 - ・場所：野外 ・募集：20名
- 4月23日：ガイダンス、5月27日：三浦の地層、6月18日：酒匂川の川原石、7月19日：お中道と大沢崩れ、10月22日：新期外輪山と中央火口丘、11月19日：古期外輪山、12月17日：神縄断層と大野山、1月27日：千葉県立中央博物館、2月18日：丹沢層群の基底、3月18日：丹沢層群の沸石

民俗探訪会

「相模の祭と年中行事」というテーマで、各地を訪ねます。

- ・日時：年12回（不定期）。主に土・日曜日の午前10時～午後4時
 - ・場所：野外（雨天時は講堂）・募集：20名程度
- 4月16日、4月22日、5月28日、7月16日、8月13日、8月26日、10月15日、11月3日、12月10日、1月6日、1月14日、1月28日

石仏を調べる会

市内の石造物を調査し、冊子にまとめます。

- ・日時：毎月第2・4木曜日の10時～16時
- ・場所：野外と特別研究室 ・募集：10名

古文書講読会

平塚市の近世文書の読解を通し、地域の歴史を学びます。

- ・日時：毎週金曜日の10時～16時
- ・場所：博物館講堂 ・募集：20名

裏打ちの会

古文書の裏打ちの技術を学び、実際に博物館資料の裏打ちを行うボランティアの会です。

- ・日時：毎月第3水曜日の10時～15時
- ・場所：博物館科学教室 ・募集：5名

漂着物を拾う会

平塚海岸に打ち上げられる生き物や人工物を収集して調べ、海の環境を考えます。

- ・日時：毎月第2土曜日の9時30分～11時
- ・場所：平塚海岸（花水川橋平塚側たもと集合）
- ・募集：30名（準会員制）

展示解説ボランティアの会

博物館1階2階常設展示の展示解説をしてくださる方を募集します。現在は各コーナーについて解説用の資料を作成中です。

- ・日時：毎月第1・3木曜日。
- ・場所：特別研究室 ・募集：20名

◆申込先◆

往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、希望する会宛にお送りください。

〒254-0041 平塚市浅間町12-41

平塚市博物館「〇〇〇」係へ

*申込〆切：いずれも3月末日まで

博物館カレンダー

2000年3月

1	水	☆ 寄贈品コーナー「新顔の帰化植物」 (～3月30日)	展示室
3	金	古文書講読会	講堂
4	土	地質調査会	科学室
		☆ プラネタリウム「全天88星座」 (～4月23日)	プラネ室
5	日	民俗探訪会	
9	木	石仏を調べる会	特研室
10	金	古文書講読会	講堂
11	土	◎ 漂着物を拾う会	虹ヶ浜
12	日	地質調査会	野外
15	水	裏打ちの会	科学室
		地質調査会	特研室
17	金	古文書講読会	講堂
		◎ 星を見る会「月」	屋上
18	土	天体観察会「まとめ」	科学室
		☆ 特別展「星の地図・星の住所」 (～4月9日)	特展室
19	日	◎ ろばたばなしの会	展示室
23	木	石仏を調べる会	特研室
		◎ 特別展説明会	プラネ室
24	金	古文書講読会	講堂
25	土	空襲と戦災を記録する会	特研室
26	日	古代遺跡を探す会	野外
		相模川の生い立ちを探る会	辺室山
30	木	○ 体験学習「星座早見を作ろう」	科学室

2000年4月

1	土	☆ 寄贈品コーナー「人文新資料」 (～4月30日)	展示室
		☆ プラネタリウム「全天88星座」 (～4月23日)	プラネ室
6	木	展示解説ボランティアの会	特研室
7	金	古文書講読会	講堂
8	土	◎ 漂着物を拾う会	虹ヶ浜
9	日	地質調査会	野外
13	木	石仏を調べる会	野外
14	金	古文書講読会	講堂
15	土	地質調査会	科学室
16	日	◎ ろばたばなしの会	展示室
		民俗探訪会「説明会」	講堂
19	水	裏打ちの会	科学室
		地質調査会	特研室
20	木	展示解説ボランティアの会	特研室
21	金	古文書講読会	講堂
22	土	空襲と戦災を記録する会	特研室
		民俗探訪会「比々多神社春祭り」	伊勢原
		○ こども観察会「春の川」	虹ヶ浜
23	日	天体観察会「ガイダンス」	科学室
		古代遺跡を探す会	野外
27	木	相模川の生い立ちを探る会	科学室
		石仏を調べる会	特研室
28	金	古文書講読会	講堂
29	土	☆ プラネタリウム「さよなら、お月さま」 (～7月16日)	プラネ室
30	日	○ 体験学習「家紋風を作ろう」	科学室

☆寄贈品コーナー
「新顔の帰化植物」
 帰化植物の中から、最近新たに見られるようになった種類、特に増えた種類を紹介します。
 会期：2月16日(水)～3月30日(木)
☆プラネタリウム
「全天88星座」
 全天の88星座すべてを一気に紹介します。
 期間：3月4日(土)～4月23日(日)
 ※土日の 11時と14時 ※観覧料：100円

◎星を見る会
 「月」月面のクレーターや海などの地形を観察。
 日時：3月17日(金) 19時～20時30分
 ※場所：博物館屋上(集合は科学教室) 参加自由

◎ろばたばなし
 相模地方の伝説と昔話を語ります。
 日時：3月19日(日) 午後1時半と3時
 場所：1階展示室民家内 参加：自由

◎漂着物を拾う会
 日時：3月11日(土) 9時半～11時
 場所：虹ヶ浜海岸
 申込：自由参加ですが、初めて参加される方は往復ハガキで申し込んでください。集合場所の案内をお送りします。

☆：展示(無料)・プラネタリウム(観覧料) ○：申込制 ◎：自由参加 他は年間会員制

あなたと博物館 24巻12号通巻278号 発行 平塚市博物館 3000
 〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel. 0463-33-5111 Fax. 31-3949